

いちほら福祉ネットの は 一 と 通 信

10月25日発行
Vol.1

発行者 中核地域生活支援センター いちほら福祉ネット
〒290-0054 千葉県市原市五井中央東2-14-13 篠原ビル104号
TEL 0436-23-5300 FAX 0436-23-5225
ホームページ http://park22.wakwak.com/~ichihara_f.net/
メールアドレス ichihara_f.net@bh.wakwak.com



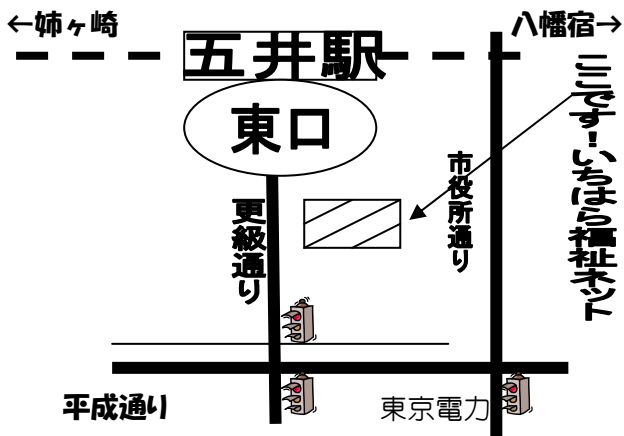
ちから 福祉力

中核地域生活支援センター
いちほら福祉ネット



五井駅東口より徒歩2分

最初の信号手前です。



来所相談 9:00~17:00
電話相談 24時間受付

一人で悩まないで・・・!

「介護に疲れてしまった」「福祉のサービスを受けたいけど、制度が分からない」「うちの子、ちょっと違う?！」そんな悩みを抱えた方から相談が寄せられます。

その第一声は、「どこへ相談したらいいのかわからなくて」「こんな相談を聴いてもらえるのか」

一緒に考えましょう!

福祉に関する相談を24時間365日体制で受け付ける機関が中核地域生活支援センター「いちほら福祉ネット」です。私たちは、ワンストップ（たらい回しにしない）で受け止め、その人に合った解決策を一緒に考えていきます。

ごあいさつ

いちほら福祉ネットは、今年度より千葉県から『中核地域生活支援センター事業』を受託しました。

「だれもが、ありのままにその人らしく、地域で暮らすことができる」地域社会の実現に向け、民間の生活支援の拠点となるよう活動していきます。

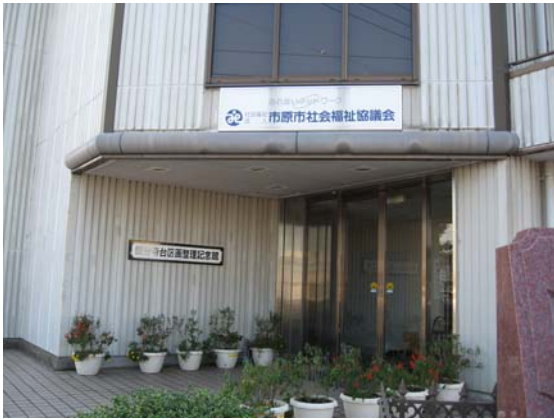
どうぞよろしくお願いたします。

所長 大戸 優子

ちから 福祉力

市原市社会福祉協議会

みんなの力で、福祉のまち「いちほら」をつくろう！



「社協（しゃきょう）」という略称で親しまれている社会福祉協議会とは、社会福祉法に基づき、全国・都道府県・市町村ごとにそれぞれ組織され、地域福祉の推進役として位置づけられた、住民主体を原則とした公共性を有する「民間団体」です。

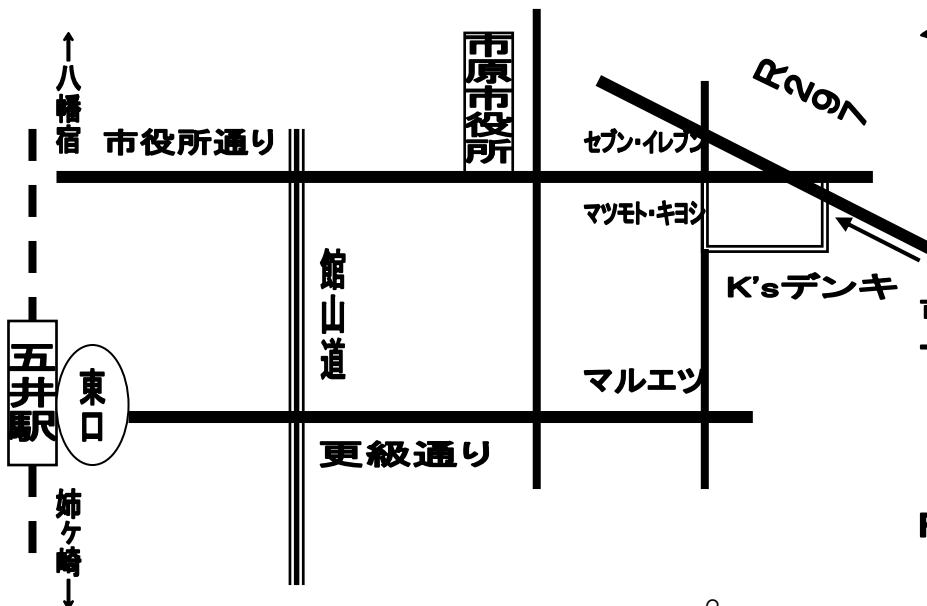
市原市地域福祉計画では牽引役として、住民ニーズをしっかりと把握した中で「様々な問題を抱えた人を見過ごすことなく、地域で安心した生活が可能になるよう、一人ひとりの生活を総合的に支援していく」ための実践活動を推進しています。

「みんなの福祉力（ちから）で、思いやりとやさしさに満ちた福祉のまちをつくろう！」

～市原市地域福祉活動計画～

みなさんが暮らしている街を見渡すと、様々な問題や課題が見えてきませんか？介護が必要な一人暮らしのお年寄り、介護が大変そうな家族、子育てに悩んでいるお母さん、災害時への不安など…このような問題や課題を地域で出来るところから解決していこうというのが、現在「社協」が策定を進めている「市原市地域福祉活動計画」です。名前は、難しそうですが小学校区を「小域福祉圏」という単位として、その中にある町会・自治会、福祉施設、医療機関、NPO、ボランティア、老人クラブ、商店会、教育機関が地域や機能の特色を生かして「支えあい・助け合いネットワーク」を構築するものです。近年では、阪神・淡路大震災や新潟中越地震で地域のネットワークが多くの人命を救ったことは記憶に新しいところです。出来ないことや難しいことをするのはではなく、地域で暮らす私たちだから出来ること。そこから始めることが大切なのではないでしょうか。

～案内図～



社会福祉法人 市原市社会福祉協議会

〒290-0075

市原市南国分寺台4丁目1番地4

TEL: 0436-24-0011

0436-20-8585

(訪問介護部門直通)

FAX: 0436-22-3031

ちから 福祉力

千葉県市原健康福祉センター (市原保健所)

市原健康福祉センターは県の出先機関で、設立は昭和19年市原保健所として出発しました。現在、センターは、総務企画課、地域保健福祉課、健康生活支援課の3課からなり、市内における病院等の立ち入り検査、地域保健従事者の人材育成、飲料水・病原性を持つ腸内細菌検査、未熟児等健康相談、思春期・女性のための健康支援、精神保健、配偶者暴力相談、結核・エイズなどの感染症対策、食中毒防止、動物愛護管理事業などを展開しているところです。



相談・検査業務案内

内容	受付日	受付時間	備考
女性のための健康相談	第1火曜日 第3火曜日	12:15～14:15 13:30～15:30	予約制
未熟児等発達相談	第3金曜日	9:00～10:30	育児・栄養相談
療育相談			股関節脱臼・斜頸等の相談
精神保健福祉相談	第1・3・4金曜日	14:00～16:00	予約制
配偶者暴力(DV)相談	電話：毎週月～金曜日 面接：毎週木曜日	9:00～17:00	電話：0436-21-3511 面接：予約制
エイズ抗体検査	第2・4水曜日	13:00～14:00	即日検査有：予約制
	第2水曜日	17:30～19:30	即日検査無：予約不要
水質検査	第1・3火曜日	9:00～10:30	予約制：有料
腸内細菌検査	第1～4水曜日	9:00～10:30	有料
飼い犬・飼いねこ引取り	毎週木曜日	13:30～14:30	有料

催し物のお知らせ

講演「男性と女性のための健康教室」

「夫が更年期になったら」～男にもある更年期、お互いを理解して、これからの人生を歩むために～

講師 作家 宮西ナオ子氏

日時：11月9日(木) 14:00～15:30 場所：市原市民会館3階(先着60名) 参加費は、無料

【お問い合わせ】市原健康福祉センター(市原保健所)地域保健福祉課まで

〒290-0056

市原市五井1309

TEL:0436-21-6391

FAX:0436-22-8068



第4回 障害部会(9月28日 市民会館大会議室)

障害部会は、2ヶ月に1回、35もの当事者団体や関係機関が参加し、福祉サービスの充足状況の把握、地域の課題を解決するための調査研究、情報交換の場として開催されています。当事者・行政・施設・医療など、様々な分野からの出席があり、障害者支援の力強いネットワークが構築されています。



今回の障害部会では、「交通バリアフリー」がテーマとして取り上げられました。当事者が公共機関を利用した際の感想や意見が述べられたほか、交通バリアフリーに関する市民活動の様子も報告されました。

また、個別の課題を集中的に話し合い、解決の糸口を探ろうと、障害部会から2つのワーキンググループが誕生しました。その活動をご紹介します。

第2回就労ワーキンググループ

(8/28福祉会館創作工芸室)

障害者の就労は、一度就労しても離職してしまい、長い時間自宅に引きこもってしまうといったケースが多く、就労支援だけでなく職場への定着やその後の生活支援も重要になってきています。その為に、障害者雇用の実態把握、就労支援専門機関への取り組みの把握、支援体制の構築、当事者からの声を聞く。このようなことに取り組みながら「市原型就労システム」の提案をめざしています。

第2回災害時支援ワーキンググループ

(9/28市民会館大会議室)

災害時、障害のある人は、一人での避難が困難だったり、突発的な出来事にうまく対応できないことがあります。

支援を必要とする人の把握、安否確認の方法、避難場所までの避難方法や経路、避難所で必要な物品の把握。防災訓練に参加し、地域の人に障害を理解してもらう必要性。このようなことに「一人でも多くの命を助けたい」という思いで取り組んでいます。

地域で支えるグループホームを

第17回市原地域福祉フォーラム (10/8姉崎保健福祉センター:アネッサ)

主催：市原地域福祉フォーラム 共催：中核地域生活支援センターいちほら福祉ネット

地域福祉をテーマに、市民が個人レベルで参加し発言する「地域福祉フォーラム」これを毎月主催している任意団体「市原地域福祉フォーラム」といちほら福祉ネットが共催で、講演会を開催しました。

千葉県地域福祉支援計画推進作業部会委員・千葉県障害者計画推進作業部会会長の宮代隆治氏を講師にお迎えし、「これで安心グループホーム・・・？」と題して、障害のある人が地域で暮らす、グループホームの現状と今後についてお話いただきました。実践に裏打ちされた先生のお話は、大変興味深く説得力があり、参加者の方からも「具体的な話が聞けた」「有意義な時間を過ごせた」との声が上がっていました。



子育てを応援したい方（協力会員）募集！

いちほらファミリー・サポート・センター11月スタート！



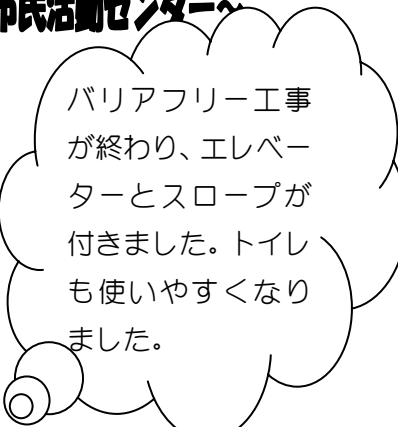
市原市社会福祉協議会では、11月スタートの「いちほらファミリー・サポート・センター」に向けて、援助したい人（協力会員）を募集しています。この活動は、子育ての手助けをしてほしい方（利用会員）と子育ての手助けをしたい方（協力会員）が、サポートし合い、安心してゆとりある子育てができる環境づくりを目指す相互援助（有償）の活動です。

登録要件は、①市内に在住している方②心身ともに健康で、積極的に援助活動を行なっていただけの方③自宅で子どもを預かることができる方。

【お問い合わせ】 市原市社会福祉協議会 地域福祉グループ TEL24-0011まで

リニューアル・オープンしました！ ～市原市民活動センター～

【センター内の団体・組織】
市原市ボランティアセンター
市原市ボランティア連絡協議会
市原NPO協議会
市原市国際交流協会
市原市男女共同参画社会を進める市民の会
福祉ショップ「マーブル」



バリアフリー工事が終わり、エレベーターとスロープが付きました。トイレも使いやすくなりました。

五井中央西2-22-4
TEL 21-0454



『あなたの「もしや？」が子どもを救う』

11月は「児童虐待防止推進月間」です。

- 児童虐待には、①身体的虐待②性的虐待
③ネグレクト(養育保護義務の拒否・怠慢)
④心理的虐待の4つがあります。

児童虐待防止法により、これらの疑いがある時には、通告が義務付けられています。

通告先

子ども福祉課(家庭児童相談室)

TEL0436-23-9802(平日8:30～17:15)

千葉県中央児童相談所(子ども家庭110番)

TEL043-252-1152(24時間対応)

第24回市原市福祉まつり

ふれあい福祉文化展

市内の障害者福祉団体・施設による



作品展示・販売・模擬店など

日時:平成18年11月12日(日)

午前10時～午後3時

場所:市原市役所1階正面玄関

主催:市原市

共催:市原市中心身障害者福祉団体連絡協議会
社会福祉法人市原市社会福祉協議会

平成18年度

こころの病気がわかる勉強会



『若年性認知症について』

磯ヶ谷病院 根本 豊實氏

日時:平成18年10月31日(火)

午後2時～4時(受付は、午後1時40分から)

場所:市原市保健センター3階

参加者:市原市にお住まいの方。

市原市内に通学・通勤している方。

参加費:無料(先着100名)

【お問い合わせ】

市原市役所 障害福祉課 23-9815

千葉県市原健康福祉センター 21-6391



旬の食材を使ったヘルシーメニュー 骨粗しょう症の予防に 高野豆腐のカラフル煮

・材料（4人分）・・・凍り豆腐40g、にんじん40g、枝豆40g、銀杏40g、
しめじ80g、だし汁2カップ、塩4g、砂糖大さじ1、しょうゆ少々

- 作 り 方
- ①凍り豆腐は水に浸けて戻し、水気を切って2cmの角切りにする。
 - ②にんじんは、もみじやいちょうの型で抜き、しめじは小房に分けておく。
 - ③だし汁に調味料を加え、味付けした中に①②と枝豆、銀杏を加えて煮る。

栄養士さんからおすすめの一言…

「高野豆腐は、良質のたんぱく質やカルシウム、鉄分を多く含むヘルシー食材です。
一口サイズに切ることで、食べやすくなります。」

今回のレシピは、社会福祉法人市原福祉会 特別養護老人ホームふるさと苑栄養士・山田様より
いただきました。

ボランティアは志願兵？！



今月2日に市原市市民活動センターがリニューアル・オープンしました。その中に「市原市ボランティアセンター」があることをご存知ですか？ボランティアセンターは、市民の皆さんとボランティア活動を結びつける窓口です。そこで今回は、「ボランティア」の語源について調べてみました。もとは、ラテン語の「Volo(ウオロ・意思を持つ)」という言葉から派生した「Voluntas(ボラントス・自由意志)」という言葉でした。やがてフランス語では「Volunte(ボランティ・喜びの精神)」という言葉になり、英語では人名称の「er」を付けて「Volunteer(ボランティア)」という言葉になりました。ちなみにドイツ語では、「Volontar(ボラントル)」と言うそうですが、フランス語・英語・ドイツ語共に「志願兵・義勇兵・有志兵」といった意味もあるそうです。17世紀後半のイギリスでは、自らすすんで組織された自警団に参加した人々を「ボランティア」と呼んでいました。今とは、歴史的背景が違いますが「自らすすんで」という気持ちは、今も昔も同じようですね。

いちほら福祉ネットへの相談件数

平成18年度4月～9月

延相談件数 1,869件 (新規167件)

相談方法	対象者
電話 1,509件	高齢者 234件
訪問 197件	障害者 102件
来所 163件	児童 160件
	その他 373件

編集後記

半年が経ち、ようやく広報誌を発行することができました。いかがでしたでしょうか？「いろいろな人に読んでもらいたい」このような思いで作ってきました。市原の地域福祉を進めていく一助になればと思います。また、ご意見やご感想があればお寄せいただき今後の広報誌作りの参考にさせていただきたいと思います。(スタッフ一同)